

□雇用における公平・公正
—「雇用における公平・公正に関する研究委員会」報告—

「雇用における公平・公正に関する研究委員会」(*主査)

島田 陽一	早稲田大学法学部教授 (*主査)	守島 基博	一橋大学大学院商学研究科教授
小倉 一哉	労働政策研究・研修機構主任研究員	杉山 豊治	情報労連政策局長
菊池 馨実	早稲田大学法学部教授	花岡 紋乃	JEC連合情報調査センター副部長
西川 真規子	法政大学経営学部教授	龍井 葉二	非正規労働センター総合局長
根本 到	神戸大学海事科学部准教授	片岡千鶴子	連合男女平等局局長
宮本 大	同志社大学 COE 特別研究員	村上 陽子	連合雇用法制対策局局長

パートタイム労働者、契約労働者、派遣労働者など非正規労働者がこの十年間に急増し、今や雇用労働者の3分の1を占めるに至っている。そして、これら非正規労働者の賃金、労働条件は正規労働者に比較して低いという社会的な格差が目立つ。加えて、非正規労働者には雇用保険、健康保険、厚生年金保険など公的な社会保険の適用についても格差が見られる。このような雇用における格差は、社会的に公平・公正と言えるであろうか。

本研究委員会は、こうした雇用形態における賃金、労働条件の格差について、労働法学者、人的資源管理論、労使関係論、社会学、社会保障法の学識者および労働組合の雇用政策担当者を委員に迎えて、12回の研究委員会、2回の勉強会を開催し、検討を重ねた。そして、これらの議論を素材として、「雇用における公平・公正」の考え方、その現状、および問題点について、各委員がそれぞれの専門分野から研究論文にまとめた。

課題解決のためには均等・均衡の「公平」論を具体化する必要がある、さらに「公正」論からは法的整備と手続き的公正の諸制度を促すことが必要になっている。本報告書は、「雇用における公平・公正」の実現に向けて各分野において取り組むべき課題を提起している。

目次

総論

本論

第I部 「雇用における公平・公正」の考え方

第1章 雇用における公平・公正—労働法学の視点から

第2章 今、公正性をどう考えるか：組織内公正性論の視点から

第3章 雇用における差別禁止と平等規整の国際的状況

第II部 日本における雇用格差と「公平・公正」

第4章 非正規労働者の雇用・労働条件と公平・公正

第5章 ジェンダーと公平・公正な働き方

第6章 社会保障制度における短時間就労の取扱い

第7章 賃金分配における公平・公正—報酬システムの変化から受ける影響についての考察を中心に—

第III部 労働組合と雇用の公平・公正

第8章 雇用の非正規・不公正・不公平—パート労働問題を中心に—

第9章 非正社員の労働組合加盟と均衡待遇への労働組合の活動—伊勢丹労働組合の事例から—

第10章 派遣労働者の実態と派遣法改正への労働組合の対応